



【学会通信 No. 68】 2011. 6.29

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。

日本プロテオーム学会 2011 年大会 (JHUPO 第 9 回大会) のご案内

日本プロテオーム学会 2011 年大会 (JHUPO 第 9 回大会) は本年 7 月 28 日 (木) ~7 月 29 日 (金) に、新潟市の朱鷺メッセを会場として開催されます (<http://www.kidney-niigata.org/jhupo9/>)。また、7 月 30 日 (土) には日本が担当する 2 つの HUPO Initiative を含む、4 つの国際サテライトシンポジウムを併せて開催致します。

今大会の特徴は「世界と連携するプロテオミクス」をテーマに海外から約 20 名の研究者をお招きし、HUPO Human Proteome Project のセッション、Human Disease Glycomics/Proteomics Initiative、Human Kidney and Urine Proteome Project Initiative などの英語セッションを企画しました。HUPO president の Catherine Costello、HUPO Past President の Young-Ki Paik、HUPO Human Proteome Project WG manager の Pierre Legrain や、KHUPO からの招聘講演者、Je Kyung Seong や Kang-Sik Park らのお話が聞けます。また、プロテオミクスのビギナーからエキスパートまでを対象とした教育セミナー「よくわかるプロテオミクス」が終日あり、第一線で活躍中の 13 人の研究者が基礎から新技術まで幅広い分野を教えてください。その他、植物、農学プロテオーム研究をはじめとしたセッションなどがあります。

東北地方太平洋大震災の渦中ですが、この試練の時こそ活発な活動が日本の活性化に必要と思っています。新潟らしいイベント企画：新潟の食と芸能を楽しむ懇親会、新潟の名産品販売のチャリティバザー、新潟名産品の賞品が当たる展示ルームでのスタンプラリー、科学者の芽を育てる高校生の見学などが企画されております。

会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本プロテオーム学会 2011 年大会長
新潟大学 山本 格